



希望の鐘

宇部市立見初小学校

令和6年12月24日

児童数
97人
(12/24現在)

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

令和6年に感謝を込めて

校長 川本 朋子

1年が経つのは早いものです。もう、令和6年が終わろうとしています。そして、令和7年を迎えようとしている今、振り返ってみて様々な出来事があったなあとしみじみ感じているところです。

大きかったのは、ついに、体育館の工事が始まったことです。あんなに親しまれ、愛されてきた見初小学校体育館が取り壊され、現在は更地になっています。もう、あの温かな体育館の懐に入ることはできないさみしさを感じつつも、これから新しい体育館の誕生に大きく期待しているところです。完成までは、まだ長い日数がかかりますが、工事の安全を願いながら楽しみに待ちたいと思います。運動場東側に建設予定の見初ふれあいセンターの工事は大きくはまだ始まっておりませんが、体育館と同じく心待ちにしたいと思います。

さて、コミュニティ・スクールとしての見初小学校は、地域に支えられながら運営をしている学校です。特に2学期を振り返ってみると、様々なご支援をいただきながら、充実した教育活動を行うことができました。毎週月曜日のわくわく楽習では将棋や囲碁、オセロを地域の方と楽しむ姿だけでなく、運動場ではグランドゴルフに歓声をあげる児童とそれを見守ってくださる地域の方々の姿が見られました。毎週木曜日の1～3年生対象の放課後学習室では、自主的にどんどんプリントに取り組む児童の姿とにこやかに赤ペンで○を付けながら指導してくださる地域の方々の姿が見られました。金曜日の朝の読み聞かせも、子どもたちは楽しみにしています。最近では、新たに読み聞かせボランティアの方も増えました。より、子どもたちに興味を持ってもらおうと、学校の図書室で本を探されたり、わざわざ市の図書館へ探しに行かれたりして、読み聞かせをしてくださいます。そんな真心のこもった地域の方々の児童への関りに、感謝の気持ちでいっぱいです。

育友会では、地域の夏祭りや秋祭りに遊びのコーナーでご協力いただきました。保護者の皆さんのパワーは素晴らしく、子どもたちも地域の方々も大変喜んでいらっしゃいました。これからも、学校、家庭、地域がしっかりとつながっていくことを願っているところです。そして、子どもたちが地域を愛し、地域への貢献意識を高めていくことを願い、令和6年を締めくくりたいと思います。ありがとうございました。

子どもたちは、冬休みの間に家庭で過ごすことが多くなります。山口県青少年育成県民会議が推進している「家庭の日」運動の5つの提案を、この冬休みに実践されてはいかがでしょうか。

- 家族で行事やスポーツに参加しよう。
- 家族で一緒にボランティアや社会参加活動に参加しよう。
- 家族で一緒に食事をしよう。
- 家族の会話の時間をもとう。
- 家族で家事などの役割分担をしよう。

それでは、3学期に子どもたちの元気な姿に会えるのを楽しみにしています。



5年:認知症サポーター
養成講座



6年:ヨチヨチランド参加

1・2月行事予定 (12月24日現在)

日	曜	行 事
1 月		
8	水	始業式 下校 全校 11:50
9	木	給食開始 放課後学習室
10	金	読み聞かせ
11	土	どんど焼き
13	月	成人の日
15	水	集団下校 いこいの日
16	木	放課後学習室
17	金	読み聞かせ
20	月	わくわく楽習 委員会活動
21	火	教育相談週間 市学力定着状況確認問題 (3・4年)
23	木	6年薬物乱用ダメ。絶対。教室 放課後学習室
24	金	読み聞かせ
27	月	わくわく楽習 代表委員会 6年学年活動 (5・6校時)
29	水	地区児童会 見守り隊感謝の会 集団下校
30	木	放課後学習室
31	金	読み聞かせ
2 月		
3	月	わくわく楽習 クラブ活動 (3年見学)
5	水	集団下校
6	木	放課後学習室
7	金	読み聞かせ 仮入学
10	月	わくわく楽習 クラブ活動
11	火	建国記念の日
13	木	放課後学習室 神原中学校説明会
14	金	読み聞かせ
15	土	いこいの日
17	月	わくわく楽習 代表委員会
20	木	参観日 (5校時) 学級懇談会 (6校時) 学校運営協議会 育友会役員会
21	金	読み聞かせ
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
27	木	放課後学習室
28	金	読み聞かせ 6年生を送る会

1月 生活のめあて

寒さに負けない生活をしよう

- ・外遊び ・掃除
- ・風邪をひかない体づくり

★コミスクだより★

〇”服のチカラ プロジェクト”

昨年度からの活動で、今年度も山口県立宇部中央高等学校から投げかけをいただき、神原中、神原小と連携し取り組みました。

家庭で不要になった子ども服を学校・地域等で回収し、ユニクロからUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）を通して、難民などの服を必要とする子どもたちの元へ届けていただきます。

この活動への参加を通して、子どもたちにグローバルな感覚やSDGsに関する活動を実践する態度を養っていききたいと思います。

ご協力をいただきましてありがとうございました。

